

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		[43] 東京都台東区立寿児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ（平成23年末まで13こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（24年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円、 支出2,629,524,402円、 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区寿1-4-5					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC地上3階地下2階建て 遊戯室・図書室・図工室・集会室兼小遊戯室 ・こどもクラブ室等					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員6名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000
決算	委託料	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742	42,437,314
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742	42,437,314
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数		日	333	334	335	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数		人	48,000	38,552	47,144	45,800

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 初めての利用者には、地域での居場所となるよう各部屋の使い方を丁寧に伝えた。 乳幼児、小学生の男女、中高生それぞれが充分遊べて、過ごしやすい環境設定（新しい遊具や図書の購入、季節ごとの装飾、手芸や工作の充実等）を行った。 継続して利用できるように、来館者同志や職員との関係づくりに努めた。 高学年の行事を実施する際にリーダー的な役割を意識させ、育成した。 				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [3]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [3]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [-]
9. 評価				
S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	各室で、日常遊びの充実を図り、高学年のリーダー育成や父親参加のプログラム実施により日常利用に繋げた。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄を行っている。		
(2) 施設の維持管理	A	地下2階から屋上までの施設点検をこまめに行い、必要な修繕は早めに行った。 遊具や施設の衛生管理に努め、清掃、遊具の消毒等を確実に実施した。		
(3) 利用者の満足度	S	乳幼児と小学生のニーズに対応した部屋の使い方を明確にし、お互いが過ごしやすい環境を作った結果、両者の楽しい交流が生まれ、利用者数も目標を大きく上回った。また、夕涼み会など地域と連携した大型行事も継続して実施した。		
(4) 収入支出	A	職員の異動により人件費増となったが、消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	小学校低学年と乳幼児の利用が多く、部屋の使い方の工夫により、それぞれが十分遊べ、さらに交流も生まれており、児童健全育成の良好な運営がされている。	
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> 低学年の利用が多い児童館のため、各部屋での遊びの住み分けの工夫や年齢に合った遊具やプログラムの提供に引き続き努力する。 乳幼児も多いため、清掃・消毒などの衛生管理を徹底する。 高学年対象のプログラムやリーダー育成に努め、乳幼児から高学年までの繋がりを楽しめるような事業を展開する。 				